

氏名	中 村 文 雄
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 4 5 号
学位授与の日付	昭和48年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	特定死因による生命表の研究
論文審査委員	教授 緒方正名    教授 山本道夫    教授 三上芳雄

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

保健計画や保健活動の評価にあたって、特定死因が人口集団に及ぼす影響を観察することが重要であるが、このため粗死亡率や訂正死亡率などが計算される。しかしこれらは、年令人口構成比や標準人口のとり方如何によって左右され、絶対的な指標となし難い。もし特定死因以外のその他の死因がなくなったと仮定して、特定死因のみにより死亡するものとした生命表を作製して、これによって特定死因の死亡量を算定すれば、その疾病による年令別死亡率のみに規定され、他の因子の影響を受けない絶対的な指標を得ることができる。このような生命表の死亡率の求め方について、Lotkaら諸家の方式があるが、それらの方式を検討しながら、中央死亡率を用いるという簡便な方式を研究し、さらにこれを、わが国の癌その他若干の主要死因について実際に応用して、それら死因の動向を観察した。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

特定死因による死亡率を求める方法として、その死因による生命表の死亡率を算出することは、年令人口構成などの影響を除くために有効である。本研究は、その簡便な計算法として年令階級別中央死亡率による算出の方法を考案したものである。そして従来の Lotka 法および Grevill 法と理論的に矛盾せず、実際例においても Grevill による値と大差ないことを証明している点において、価値あるものと認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。